

高い安全性と信頼性でニーズにお応え 妥協なきモノづくりへの あくなき挑戦

三益工業

三益工業（大田区大森中、中西忠輔社長、03・3763・0141）は、航空機のフライトコントロール部品、ランディングギアの足回り、ジェットエンジン部品、レーダー等の管制方向システムに関する部品、新幹線の車輛ブレイキ部品等の精密機器を製造、ステンレス・チタン・インコネル（ニッケル基の超合金）等に代表される難削材部品の複雑形状精密加工を得意としている。

「航空機や新幹線といった乗り物の部品をつくるということとは、一人ひとり



和気あいあいとした現場



各種航空機部品

「妥協なきモノづくりへのあくなき挑戦」を会社理念として、日々変化する時代のニーズに対応すべく、最新設備の導入や人材育成プログラムによる技術・機能の修練に取組んできた。同社では、各製造工程を「作業記録表」として書類に残し、マニュアル化しているが、これにより、日々進化し続ける製品のデータ記載だけでなく、過去の製品の修理にも迅速に対応できる。中西社長は、この「作業記録表」を「会社の文化」として継承すべきものと位置づけている。同社の取組みに対する各方面の評価は高く、大田区から、2002年と2007年の2回に亘り、「優秀工場」の認定、2008年には東京都より「東京都中小企業ものづくり人材育成大賞知事賞」を受賞、2009年には中小企業庁より「元氣なモノ作り中小企業300社」に選定されている。同社の「妥協なきモノづくりへのあくなき挑戦」が、高い安全性と信頼性を持つ製品を生み出し、社会の大きな支えとなっている。

の大事な生命を預かること。安全であることが当たり前、少しのミスも許されないという強い責任感と使命感を持って製品づくりに取り組んでいます」と中西社長は語る。人間の生命を守るための製品を「最重要保安部品」と位置付け、熟練技術者から若手社員までスタッフ全員がその重要性を常に認識しながら働いており、工場内では、スタップのモノづくりに懸ける冷静ながらも強い情熱が感じとれる。「人の生命を預かる仕事ですから、当然製品の品質が問われます。責任を持って仕事に取組むことが、社員一人ひとりのプライドとモチベーションの高さにつながるのです」。

同社は、1966年創立以来、

詳しくはホームページにて
(<http://www.mmsk.co.jp>)